

# らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ

常木らくだ

ブログ出版局

こんにちは、らくだです。

シルバーウィークの旅行やらで、9月後半の投稿話がすっぽり抜けてしまいましたが、今日からまた通常更新に戻ります。

まずは9月が終わりましたね！

小学館、MFJ、スニーカー等々、締切りが盛り沢山だったと思いますが、それぞれの賞に投稿された皆様はお疲れ様でした。

今月もいくつか締切りがありますが、参加予定の皆様は頑張りましょう。  
ちなみに自分は、前もチラッと書きましたが、今月はSDに投稿する予定です。

続いて毎月恒例の、パブ版の紹介を。  
先月は不具合で遅れましたが、今月はちゃんと作れました。

【らくだ図書館（45）】

<http://p.booklog.jp/book/101699>

それから遅れてのお礼になりますが、誕生日（9月25日）にメッセージをくださった方、どうもありがとうございました！

今年は宣伝しなかったのに、しっかり日付を覚えてくださっている方がいたことが、何よりも嬉しいです。

とまあそんな感じで。

久し振りなので業務連絡のようになりましたが、これからも無理のない範囲で、まったり更新を続けていこうと思います。

こんにちは、らくだです。

10月1日にビーンズの受賞作が発表されました。

今回は大賞の該当作品はナシで、優秀賞、奨励賞、読者賞が選出された模様です。

【発表ページ】

<http://www.kadokawa.co.jp/beans/awards/>

応募総数 502作品

受賞作品 2作品

受賞確率 約0.4%

コンビニ新撰組は受賞を逃したようですね……。

題名が気になって応援していたので、できれば刊行されて欲しいですが……。

ちなみに最近、ビーンズだけに限らず、受賞作のチェックが好きだったりします。

実を言うと、受賞作を読むの、昔は大嫌いだったんですね。

作品自体を楽しむよりも、嫉妬が先に来ちゃうので。

でもいざ読んでみたら、やっぱり受賞して刊行されるような作品は面白いので、この楽しみを自分から遠ざけるなんて損だなあーと。

そんなこんなで、投稿開始から7年たった今、ようやく肩の力を抜いて楽しめるようになりました。

逆に言うと、嫉妬を捨てて客観的な状態になれるまで、7年もかかってしまったわけですけどね（汗）

何はともあれ、受賞作がいつ刊行されるのか、期待して待ちたいと思います！

こんにちは、らくだです。

ネット小説大賞（旧なろうコン）が、10月1日より受付開始されました。  
特設ページが登場しているので、そっとリンクを貼っておきます。

【応募要項】

<http://www.cg-con.com/novel/youkou.html>

< 2015 年 >

10/1 応募受付開始

10/8 応募作品ピックアップ開始、感想付け開始

< 2016 年 >

2/1 応募締切

3月下旬 一次選考結果発表

4月下旬 二次選考結果発表

5月下旬 最終通過者発表

6月上旬 応援期間開始

6月下旬 最終結果発表

夏～ 各種作品出版予定

スケジュールを抜粋しましたが、締切りは来年の2月1日です。  
かなり余裕があるので、今から連載を開始しても、十分に戦えそうですね。

それにしても、なろうコン……。

前回の総数が6,284作だったけど、今回はどうなっちゃうんだろう……。

個人的な予想ですけど、ネット小説の勢いはまだまだ加速しそうに思えるので、電撃の最多応募数の6,554作（第20回）を越えてくるかもしれませんね。

というわけで、新人賞の勢力図がどうなるのか、情報を追っていきたいと思います。

こんにちは、らくだです。

MW文庫ですごく感動した作品があったので、アンケートハガキを記入したという話を、今年の6月頃にチラッと書いたんですが……。

[【当時の記事】](#)



作者様ご本人とメールする機会があったので、喜び勇んで「ハガキ送りました！」と伝えたのですが、アンケートは転送されないらしいです（汗）

なんてこったい！

感想欄に書き切れないぐらい、想いの丈を詰め込んだのに！

しかも綺麗な字で書けるよう、わざわざ下書きしてから清書したっていう、地味な努力もしたんだぜ……。

ただ聞いた話によると、奥付宛てに出したファンレターはまとめて転送されるらしいので、ご本人の元へ届くとか。

詳しい事情はよくわかりませんが、アンケートの方は、広報用なのかもしれませんね。

「本書を購入した書店名」とか、「普段よく読む雑誌」とか、そういう質問が多いですし。

とにかくそんなわけで、今後アンケートハガキを送る際は、一緒にファンレターも送ろうと決意しました。

これから読書の秋ですし、「応援したい！」と思える素敵な作品に、たくさん出会えるといいなあーと思います。

KADOKAWA が小説投稿サイトを新設！  
それに伴って Web 小説コンテストを開催！  
そしてなんと既存作の二次創作も一部解禁！

というわけで大規模な発表が来ましたね～。

ツイッターでトレンド入りしちゃうくらいなので、投稿界限のみならず、これは大ニュースと呼んでいいと思います。

【ティザーサイト】

<http://kaku-yomu.kadokawa.jp/>

【準備会ブログ】

<http://kadokawa-toko.hatenablog.com/>

詳しくはリンク先参照ですが、個人的な感想は「びっくり」ではなく、「やっぱり」って感じです。

近年のネット小説の優勢は、新人賞の応募数を見ても明らかですし、この状況を出版社が黙って見てるわけがないよなーと。

それにしても、天下の KADOKAWA が本腰を入れてくるとなれば、今までネット小説の賞を敬遠していた投稿者も結構そちらへ流れるのでは……？

とりあえず今は詳細発表待ちですが、応募要項の内容次第では、自分も転向するかもしれません。

サイトを見るとPVにも力が入っているようですし、今後どのような展開があるのか、注目して情報を追っていきたいと思います。

こんにちは、らくだです。

今回はフィギュアスケートの話題です。

話題にするのが遅れましたが、待ちに待った新シーズン（15-16）が、とうとう開幕しましたね。

ジャパンオープンでは日本が優勝したので、スケートファン以外にも、ニュースを目にした方が多いと思います。

そして、そして。

毎年恒例のG Pシリーズ記者会見が、テレ朝のサイトにアップされました。

自分は日曜の生中継を見ましたが、いつでも視聴できるようなので、ご興味のある方は是非どうぞ。

【特設サイト】

<http://www.tv-asahi.co.jp/figure-gp/2015/movie/>

ショートの曲名を忘れて照れ笑いする真央ちゃんが可愛いです。

あと宮原知子ちゃんも相変わらずマイペースで見ていると和みます。

そういうわけで是非とも試合を現地観戦したいところですが、今年はNHK杯が長野で全日本が札幌なんですよね。

北海道も長野も遠いよ……。

せめて名古屋か東京だったら……。

というわけで、恐らくテレビ観戦になりそうですが、とにかく今からG Pシリーズの開幕が楽しみです！

こんにちは、らくだです。

KADOKAWA の小説投稿サイトの準備会ブログが、早くも怒涛の更新ラッシュで、詳細発表への期待感が高まります。

しつこいですが、一応リンクを。

【準備会ブログ】

<http://kadokawa-toko.hatenablog.com/>

この手のお知らせブログは事務的な場合が多いですが、このサイトについては、中の人個性が割と前面に出てる感じですね。

あと、それから。

賞の応募とは別件になりますが、二次創作の解禁も、よく考えたら大ニュース。

今やピクシブなんかを見ても、一次創作より二次創作の方が多いい状況ですが、あれはあくまでグレーゾーンなわけであって。

しかし版元が二次創作を許可したとなれば、活動も宣伝も堂々とできるので、界隈がさらに盛り上がるんじゃないかなと。

というわけで。

今発表されている作品以外にも、今後追加されるようなので、そこにも注目したいです。

自分の好きな作品が出てくれば、二次も書いてみたいですね。

というか以前書いてたけど、グレーゾーンだから、表で宣伝しづらいついていう。

版元の正式なお墨付きが出れば、そういうこともなくなると思うので、今後の情報を追っていきたいです。



こんにちは、らくだです。

今回は息抜き記事として、函館土産をアップします。

まずは一枚目から。



- ・いか踊りせんべい
- ・とうきびチョコ「チョコビ」
- ・ポップコーンチョコレート
- ・かにせんべい

チョコとせんべいが多いのは完全に自分の趣味です。

続いて二枚目。

写真を撮っていて気付きましたが、見事にお菓子ばかりですね。



- ・踊るいかグミ
- ・トラピストバター飴
- ・トラピストクッキー
- ・ビールキャラメル
- ・ジンギスカンキャラメル

特に心を奪われたのは右上の「踊るいかグミ」です。

イカ味のグミなんて！  
 こんな食べるしかないじゃない！

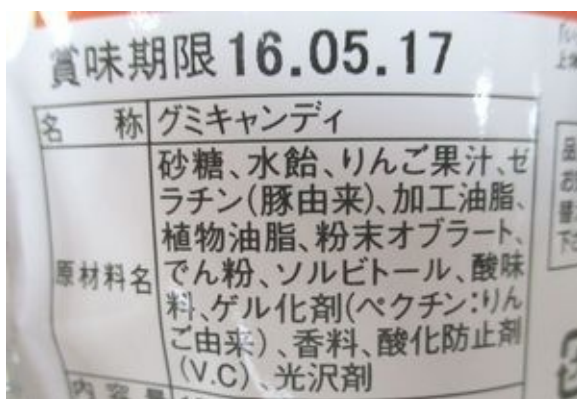
というわけで開封の儀式。



さぞやイカ臭いだろうと期待したのですが、実際はそんなことはなく、まるでリンゴのような香りがします。

いざ食べてみると、匂いだけでなく、味もリンゴ風味です。

え、これって……。  
 まさかと思って裏を見ると……。



本当にリンゴグミじゃないですかヤダー！

というわけで。

あくまで形がイカなだけであって、味はイカではありませんでした。

そもそもイカ本体がグミのような食感ですし、イカ味のグミがあったらきっと美味しいと思うので、どこかのメーカーさんに作って欲しいところです。

こんにちは、らくだです。

今日はサンマ漁や池田屋で、忙しい皆様も多いでしょう。

(メタ的話題)

それはそうと、電撃大賞の結果が発表されました！

先週末のイベントで先行発表がありましたが、今日の昼頃、ようやく公式サイトにも掲載されましたね。

というわけで、リンクです↓↓↓

【発表ページ】

[http://dengekitaisho.jp/announce\\_22\\_02.html](http://dengekitaisho.jp/announce_22_02.html)

なんと！

名前の縁で応援していた駱駝さんは金賞を受賞！

以前メールを頂いたのですが、めちゃめちゃ面白いセンスの持ち主なので、今から刊行作品に期待大です。

あと気になったのは、全体的な年齢です。

受賞者は 20 代前半から 40 代で、平均すると 29 歳という結果です。

なんかMF 1 次発表の時も思ったけど、投稿者全体の平均年齢って、ひょっとすると上がってる……？

まあ重要なのは年齢以上に作品の内容だと思いますが、自分と同年代の方々が受賞するのは、見ていて頼もしいと同時に心強いものですね。

そういうわけで、自分も負けずにサンマ漁……じゃなくて、投稿を頑張ります！

## しおりセット（非売品） - 2015.10.10 Sat

---

アスキー・メディアワークスから謎の封筒が届いた件。

え、評価シート？

いくら何でも早すぎない？

と思いつつ開封したら、選評とは別の件でした。



やったね！

読者アンケートに当選したよ！

というわけで、しおりセット（非売品）をもらいました。

先日アンケートの話をしたばかりなので、なんだかちょっとタイムリーです。

ちなみにラインナップは、

- ・ ビブリア古書堂の事件手帖
- ・ 0能者ミナト
- ・ 探偵・日暮旅人シリーズ
- ・ オーダーは探偵に
- ・ 神様の御用人
- ・ お待ちしてます下町和菓子栗丸堂

時期によって内容は違うかもしれませんが、いずれもMW文庫の人気作品ですね。

しかし正直ビックリしたわ……。

こういうのって本当に当選するんだ……。

というわけで、しおり目当てというわけではないですが、これからもアンケートは積極的に出していこう  
と思いました。

こんにちは、らくだです。

近ごろ窓を開けて作業していると、涼しいどころか寒いくらいです。

さて、今回も結果発表に関する話題を。

先日電撃の結果発表がありましたが、富士見ラノベ文芸大賞の結果も、公式ホームページに掲載されました。

以下にリンクを貼っておきます。

受賞された皆様おめでとうございます。

【発表ページ】

[http://www.fantasiataisho.com/contest/3rd\\_bungei.php](http://www.fantasiataisho.com/contest/3rd_bungei.php)

応募総数 483 作品

受賞作品 4 作品

受賞確率 約0.8%

電撃の大賞作品もそうでしたが、こちらの金賞作品もあらすじを読むと、人の死にまつわるミステリーなんですね。

確かに謎解き主題の作品って、吸引力がありますもんね。

流行はすぐに移り変わるけど、この分野はいつの時代も、一定の需要があるというか。

ただ読ませる吸引力がある分、下手すると肩透かしになる危険性もあって、作者自身の筆力が問われるジャンルだと思います。

何はともあれ、受賞作は冬～春に刊行されると思うので、本屋に並ぶのを楽しみに待ちたいところです。

## ふくしま水辺フェス 2015 - 2015.10.12 Mon

---

ふくしま水辺フェス 2015 へ行ってきました！

ふくしまと言っても福島県ではなく大阪市福島区のイベントです。  
終わったものを紹介するのも野暮ですが一応ホームページはこちらです。

【公式サイト】

<http://www.mizubefesta.com/>

何が目玉って、そりやもう……。



米倉千尋さんのアニソンライブ！

というわけで、ドキドキしつつ会場へ。  
ちょっとわかりにくいですが、ステージはこんな感じでした。



川辺に大きな船が横付けされていて、船上がステージになっています。

下の写真の方がわかりやすいかな？  
オレンジの看板の前が壇になっていて、その真ん前が客席という構造でした。





周辺には屋台も出てました。

潮風を受けながらビールとか、さぞ気持ちいいでしょうね。

昼間は別のイベントに行っていたので、ライブ時間ギリギリの到着になりましたが、余裕があれば飲食もしたかったです。



そして下は川辺の写真。

夜は周辺がライトアップされて華やかな雰囲気漂います。

さあ！

雰囲気ある薄暮れの中、いよいよライブ開始！



ご本人はトークの中で、「客席が近くて緊張した」とおっしゃっていたけれど、歌もパフォーマンスも素敵

でした。

ちなみに時間は 30 分で、曲は以下の通りでした。

たぶん合ってるはずですが、間違っていたらすみません。

- ・「フェアリーテイル～約束の日～」 フェアリーテイル (OP)
- ・「Butterfly Kiss」 RAVE (OP)
- ・「WILL」 仙界伝・封神演義 (OP)
- ・「嵐の中で輝いて」 機動戦士ガンダム第 08MS 小隊 (OP)
- ・「約束の場所へ」 カレイドスター (OP)
- ・「10 YEARS AFTER」 機動戦士ガンダム第 08MS 小隊 (ED)

米倉千尋さんの歌声は、繊細だけどパワーが溢れている感じで、どの曲も聴くと元気になれるよね。

特に封神演義とか学生時代によく見てたので、まさかご本人の歌を聴ける機会が来るなんて、あの頃はまったく思ってもみませんでした。

WILL は今でもヘビロテしていますが、他の曲も改めて聴きたくなったので、CD を探してみようと思います。

こんにちは、らくだです。

ダッシュエックス文庫から、2通の封筒が届きました。

「？」と思いながら開封したところ、

1通目 ⇒ 第2回の評価シート

2通目 ⇒ 第2回の評価シートの発送遅延に関するお詫び状

わざわざ封筒を分けた意味とは……？

とにかくそういうわけで、来ない来ないと騒いでいた集英社ラノベの評価シートが、ついに手元に届きました。

よかった……。

返信用封筒の不備じゃなかったんだ……。

ちなみに選評の内容については、一言コメントが15行くらい書いてあって、以前よりも丁寧さが増した印象でした。

これ、全然一言じゃないね！

いやまあ、たくさん貰って嬉しいけど！

具体的には細かい仕草や感情描写は褒められたけど、主軸となるストーリーが物足りないので、要素を1つか2つ足した方がいいという指摘。

うむむ……。

今回も投稿する予定だけど、正直言って、そこは直せてないぞ……（汗）

というわけで、また送っても同じ理由で落ちそうな気がしますが、指摘された内容自体はすごく勉強になったので、次に改稿する機会があったら気を付けようと思いました。

## 第3回恋愛ファンタジー大賞- 2015.10.14 Wed

---

こんにちは、らくだです。

一迅社となろうによるタイアップ企画、「アイリス恋愛ファンタジー大賞」ですが、第3回の受付が開始されています。

先月第2回の締切りが終わったばかりですが、ほぼ途切れなく募集を継続するあたり、なんとなく盛況な様子うかがえますね。

というわけで、応募要項はコチラです↓↓↓

【公式サイト】

[http://www.ichijinsha.co.jp/special/iris/renaif\\_award/](http://www.ichijinsha.co.jp/special/iris/renaif_award/)

締切りは来年の1月19日なので、今から取り組むと、丁度いい(?)くらいでしょうか。

しかし最近……。

なろうの賞が増えすぎて、ここで何を紹介したか、自分でも把握できない……。

仕方ないから自分のブログを自分で検索して、「あ、この賞の話題まだ書いてない」ってチェックするんですが、同じ賞を2度紹介してる時もあるっていうね(汗)

ちっ、違うんだ！

大事だから2度書いただけだ！

そんなわけで、このブログを毎日見てくださいっていると、「あれ、この話題って前もあったよね？」な瞬間があると思いますが、そういう場合は優しくスルーしてください。

ただそれ以外にも、最近ハミガキを2度してしまうことがあるので、この年齢でボケないように気を付けようと思います。

こんにちは、らくだです。

KADOKAWA の小説投稿サイトのQ & Aを、個人的に書き出してまとめてみました。

\*\*\*\*\*

【投稿作は完結させる必要がある？】

⇒完全に終わっている必要はない （ただし「続きは書籍で！」とかはダメ）

【どの程度の文字量を書けばいい？】

⇒少なくとも書籍化できる量は必要 （具体的な数字は追って発表）

【外国語の作品は？】

⇒不可、日本語のみ

【ルビはつけられる？】

⇒実装に向けて前向きに検討中

【複数投稿はできる？】

⇒可能 （ただし同一作品を複数ジャンルにエントリーするのは不可）

【はてなどの機能連携は？】

⇒まだ話せる内容がない

【ジャンル分けについて】

⇒ジャンル自体が曖昧で明確な基準はない

作者が「このジャンルで評価されたい」と考えるところにエントリーすればOK

\*\*\*\*\*

今のところはこれで全部ですが、まとめたことによってニュアンスが変わっている部分があるかもしれないので、正式な内容は下記をご覧ください。

【準備会ブログ】

<http://kadokawa-toko.hatenablog.com/>

それにしても、「KADOKAWA の小説投稿サイト」って長いので、早く正式な名前や略称が決定するといいですね……。

## エントリーの期限 - 2015.10.16 Fri

---

こんにちは、らくだです。

いたばし国際絵本翻訳大賞ですが、エントリーの期限がもうすぐです。

作品応募の締切り自体は11月末ですが、希望者は10月末までにエントリーする必要があるので、参加予定の皆様はお気を付けください。

というわけで。

前も貼りましたが、改めてリンクを。

### 【応募要項】

[http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c\\_oshirase/071/071122.html](http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c_oshirase/071/071122.html)

何故こんなにしつこく話題にするかというと、この賞の検索でこのブログへ来てくださる方が、想像以上に多かったりするからです。

いや、ホントね。

ビックリするくらい多いのよ。

そんなわけで気になって賞名で検索してみたところ、なんと「らくだ図書館」、公式サイトの上に載ってるじゃないですかヤダー！

いやもう……。

なんか本当に申しわけない……。

実際はふざけた投稿ブログなのに、たまに翻訳の話をするばかりにこんな事態になってしまうとは、全方位に土下座したい気分です。

いや、ブログがふざけているだけで、投稿自体は真剣にやっていますが。

とにかくこれを反省(?)して、小説も翻訳も、真面目に取り組もうと思います。

こんにちは、らくだです。

電撃イラスト大賞の連載企画、「illust × story」が更新されています。

この企画は「電撃イラスト大賞受賞者のイラストに電撃作家がストーリーをつけ、一緒に掌編を創り上げていく電撃文庫 MAGAZINE の人気連載企画」だそうです。

前にも紹介しましたが、先週の更新で公開作品の数が増えたようなので、改めてリンクを掲載。

イラスト部門の企画ではありますが、電撃の人気作家陣の小説が無料で読めるので、小説書きクラスタの皆様もチェックしてみてもはいかがでしょうか。

【特設サイト】

[http://dengekitaisho.jp/illust\\_story.html](http://dengekitaisho.jp/illust_story.html)

ちなみにサイトで読めるのは掌編ですが、この企画を通して、文庫シリーズも生まれているようです。

・『ようこそ、古城ホテルへ』シリーズ  
(作・紅玉いづき／イラスト・村松加奈子／角川つばさ文庫)

・『インテリビレッジの座敷童』シリーズ  
(作・鎌池和馬／イラスト・真早／電撃文庫)

電撃文庫はさておき、角川つばさ文庫からも刊行されているなんて、さすが幅広いジャンルの作品を受け入れる賞だけありますね。

今サイトにアップされている掌編小説も、ひょっとしたらシリーズ化のチャンスがある？かもしれないので、色々読んでお気に入りを見つけたいです。

どれだけウェブ応募が盛んになろうと、郵送で送れる賞には郵送で投稿する、昭和のナイスミドル・ワナビです。

というわけで。

S Dに送る原稿を、現在紙で準備中。

まあぶっちゃけ、ウェブ応募の方が格段にラクなんですけど、今回送る作品はルビが異様に多いから、テキストデータだと不格好になるんですね。

試しに確認したら、

- ・ルビも（ ）
- ・心理描写も（ ）
- ・文中の補足説明も（ ）

カッコ多すぎだわ！

ケッコンカッコカリだわ！（関係ない）

そういうわけで今回は紙ですが、同じ集英社のノベル大賞（前回）には、ウェブ投稿で参加しました。

というのも、ノベルの印刷指定って20字×20行だから、紙で用意すると途方もなく分厚くなるのよ……。

なので仕方なく(?)ウェブ投稿に挑戦しましたが、実際に体験したらやっぱりすごく便利だったので、今後は状況によって使い分けようかなと思いました。

ウェブでの応募は確かにとても簡単なんですけど、あっさり完了しすぎちゃうので、あまり「終わった！」って実感がありませんね。

結論としては、ウェブ投稿も紙原稿の投稿も、それぞれいい部分があると思います。



前回「ナイスミドル・ワナビ」という単語を書いたら、「え、ナイス……？」というツッコミが届いた件。

ええやないか！

自称するんは自由やで！

でも「ナイスミドル」っていう言葉、日本語にすると「いい中年」ですよ。その二つじゃ受ける印象が全然違うので、表現方法って大事だなあーと思います。

さてさて。

今回の話題は富士見ファンタジアの1次発表についてです。

昔は発表が遅い印象がありましたが、8月締切りで10月中旬に1次発表なので、今は業界最速レベルに早いですね。

というわけでリンクを以下に。

いつも通り応募数と通過率も書いておきます。

【発表ページ】

[http://www.fantasiataisho.com/contest/29th\\_first.php](http://www.fantasiataisho.com/contest/29th_first.php)

応募総数 692 本

1次通過 117 本

通過率 約 17 %

通過者の皆様はおめでとうございます！

2次発表は11月下旬の予定なので、今から1か月後くらいでしょうか。

お名前を知っている方も数名いるので、更新を楽しみに待ちたいと思います。

今ブログの編集画面を見たら、検索キーワードから16行もコメントを送ってくれた方がいました、ありがとうございます。

こっちは送信の順番通りに表示されないので、なんだか暗号みたいになってますが、解読するとたぶんこんな感じだと思います。

- ・富士見で落選して落ち込んでいる
- ・そろそろ投稿歴も長くなってきた
- ・そういう時は他のワナビブログを見て元気をもらう
- ・らくだ図書館もそんな存在の一つ
- ・しかしナイスミドルとは……？

おい待てオチ。

でもこのブログで元気を出してもらえらるなら、それは自分にとってすごく嬉しいことなので、毎日更新を続ける甲斐もあるってものです。

自分で言うのもアレですが、毎日更新の投稿ブログって、そうそうないですもんね。それだけ暇人のワナビなんて、いくら世界広しといっても、なかなかいませんよね。(言われる前に言っておく作戦)

それはさておき、自分はいつもここにいるので。

一人で頑張れる時はいいですが、心が疲れてしまったら、こっそり会いに来てください。

まあなんだかんだで更新できずに、一週間くらい放置する場合もあるから、いつも新着記事があるとは限りませんが……(汗)

とにかくらくだ図書館は、投稿砂漠のオアシスを目指して、これからも頑張ります。険しい道のりだからこそ、酸いも甘いもしっかり受け止め、共に歩き続けましょう。

こんにちは、らくだです。

KADOKAWA の小説投稿サイトに、メールアドレスを登録しました。  
今は準備中なのですが、これから最新情報が届くようなので、配信が楽しみです。

でも、アレですね。

自分が想定しているのは「過去の投稿作を掲載」で、「このサイトを使って連載を始める」というのは、今のところまったく考えてないというか。

だって、ねえ？

連載中に評価されるのって、なんとなく抵抗ないですか？

すでに最後まで書き切っている投稿作なら、酷評もそれはそれとして受け止めますが、書いてる最中に評価されたらテンションに影響するし、下手すると途中でやめちゃいそうな気が……。

でも周囲を見ると、

- ・ 公募の方が逆に怖い
- ・ 書いたらすぐに公開したい
- ・ 誰かに見せないとテンションが維持できない

なんて意見を聞いたりもするので、感じ方は人それぞれだなあーと。

とりあえず自分の場合は抵抗があるので、もし今後ネットで連載を始めたとしたら、賞とかデビューとか関係ない二次創作から入りたいです。

二次解禁の作品もこれから増えるみたいですね。

KADOKAWA には色々なレーベルがあるし、何が来るのか今後の更新が楽しみです。

## MF 第 1 期の結果 - 2015.10.22 Thu

---

こんにちは、らくだです。

MF 第 1 期（6 月締切り分）の結果発表がありました。

最近の発表形態をよく知らなかったのですが、1 次発表の後に、2 次・3 次・最終が一気に公開されるんですね。

何はともあれ、リンクを掲載。

下に載せているのは、通過数（通過率・平均年齢）です。

【発表ページ】

<http://www.mediafactory.co.jp/bunkoj/award/result/#first>

応募総数	415 作品
1 次通過	129 作品（約 31 %、26.13 歳）
2 次通過	28 作品（約 6.7 %、25.57 歳）
3 次通過	2 作品（約 0.5 %、29 歳）
受賞作品	1 作品（約 0.2 %、28 歳）

3 次や最終は平均してもあまり意味がないですが、1 次通過と 2 次通過の平均年齢がほぼ同じなのは、なんとなく面白いように感じました。

それから評価シートも発送されたようです。

こちらはツイッターとブログで告知されています。

【MF 編集部ブログ】

<http://blog.mediafactory.co.jp/mfbunkoj/?p=2910>

現在は第 2 期（9 月締切り分）が選考中で、第 3 期（12 月締切り分）が受付中です。

締切り回数が多いので混乱しそうですが、引き続き情報を追っていきたいです。

## 選評の到着日 - 2015.10.23 Fri

---

こんにちは、らくだです。

毎年この時期になると、「電撃の選評はいつ届く？」という検索が急増しますが、基本的に11月上旬です。

みんな落ち着け！

まだ焦るような時間じゃないぞ！

具体的には下記の通り。

第1週か第2週の可能性が高いですね。

### 【電撃の選評到着日／常木らくだ調べ】

第16回（2009年）	11月18日（水）
第17回（2010年）	11月1日（月）
第18回（2011年）	11月4日（金）
第19回（2012年）	11月5日（月）
第20回（2013年）	11月11日（月）
第21回（2014年）	11月10日（月）

ちなみに自分が落選した回については、投稿仲間さんの情報を元にしています。

あと普通郵便なので、住んでいる地域によって、多少前後します。

それにしても、投稿歴が長くなってくると、こういうデータが集まる集まる……。

ブログは過去のエントリーが流れちゃいますが、必要な情報を取り出して各賞の一覧表とかを作ったら、すごく役に立つページができそうですね。

過去ログをすべて確認するとなると、かなり時間が必要ですが（汗）、要望があればやってみたいと思います。

## OVLの締切り回数変更を今知った- 2015.10.24 Sat

---

こんにちは、らくだです。

今日は木枯らし1号が吹いたそうで、本格的に寒くなってきましたね。  
執筆中は夜更かしすることも多いですが、風邪には充分気を付けたいものです。

さて、今回も発表の話題を。

OVL第1ターン（8月締切り）の1次結果が発表されました。

下にリンクを貼っておきます。  
通過された皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<https://over-lap.co.jp/bunko/award/announcement.aspx>

応募総数	386本
1次通過	57本
通過率	約15%

ところでOVLさんって、今まで年4回締切りがあったと思うんですが、いつの間にか（今年から？）年2回になったんですね（汗）

はい、そうです。  
投稿ブログやってるくせに、今ようやく気付きました。

まあ年2回でも充分多いと思うんですが（1回の賞も多いですし）、そう考えると、昔から年4回のMFはスゴイんだなーと感じます。

何はともあれ、今回もお名前を知っている方がいることですし、2次発表を楽しみに待ちたいと思います。

こんにちは、らくだです。

第3回集英社ラノベの最終結果が発表されました。

下にリンクを貼っておきます。

受賞者の皆様はおめでとうございます。

【結果ページ】

<http://dash.shueisha.co.jp/award/dx3rdAward/award.html>

そして集英社ラノベといえば、今日が第4回の締切りで、自分もこっそり応募しました！

ふう……。

久し振りに投稿したぜ……。

と思ったけど、最後に送ったのは8月の野性時代だから、別にそこまで久し振りじゃないっていうね（汗）

あとレターパックを追跡したら、受取時間が早朝6時でした。

始発か徹夜明けかわかりませんが、何にせよ、ハードボイルドな業界だと思います。

とにかくそんなわけで、

- ・ 電撃（選評待ち）
- ・ 野性時代（1次発表待ち）
- ・ 集英社ラノベ（1次発表待ち）

というのが今の自分の状態です。

直接投稿していない賞も情報は追いますが、やっぱり自分が参加していると気合も入るので、発表を楽しみに待ちたいと思います。

こんにちは、らくだです。

S Dに投稿したよーという記事の後、お疲れ様のコメントをくださった方、どうもありがとうございました。

以前はクリスマス発表だった年もありますが、今はスケジュールが変わって年明け発表なので、ゆっくり気長に結果を待とうと思います。

さてさて。

そろそろ10月下旬だし、いたばし絵本に申し込もうと思ってサイトを見たら、定員に到達していました。

【公式サイト】

[http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c\\_oshirase/071/071122.html](http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c_oshirase/071/071122.html)

すごい！

参加有料の賞なのに、1,000件超えなんて！

いやでも、いたばし絵本は何度も参加していますが、お金を払っても応募したいと思える賞なんですよね。

絵本のチョイスが毎回素敵だし、講評が丁寧で勉強になるし、翻訳の賞では一番好きです。(そもそも翻訳の賞って少ないですが・汗)

それにしても定員締切り……。

S Dの原稿してて出遅れちゃったよ……。

そういうわけで、今年はチャンスを逃しましたが、講評は公式サイトに載るはずなので、結果が出たらチェックしたいと思います。



こんにちは、らくだです。

ふと思い立って、手持ちの評価シートを数えた結果、以下の結果でした。

いやあ……。

投稿歴が長くなってくると、こんな集まるんですね……。

【これまでに集めた評価シート】

全58枚

----- 内訳 -----

15枚 SD・集英社ラノベ

8枚 GA

7枚 電撃

7枚 コバルト長編（旧ロマン・現ノベル）

6枚 OVL

5枚 HJ

4枚 ヒーロー文庫

3枚 えんため

3枚 MFJ

というわけで評価シートの枚数は58枚ですが、選評の制度がない賞もあるので、落選回数は余裕で3桁ですありがとうございます！

それにしても、改めて数えてみると、面白いですね。

えんためとか何度も送っているのに、意外と少ないのでビックリしました。

まあ1次落ちだと選評ないから、それが少ない理由ですけど（汗）

実際はさっさとデビューできた方がいいんですが、評価シートが集まるのも勲章みたいでそれはそれで楽しいので、これからも積極的に（？）集めていきたいです。

## イオンの株主優待 - 2015.10.28 Wed

---

こんにちは、らくだです。

小説投稿とまったく関係ありませんが、ついに来週は郵政3社の上場ですね。

ちなみに自分……。

抽選に申し込んだけど3社とも全落ち……。

それは別にいいんですが、「落選」という文字はワナビ的にへこむので、せめて「はずれ」とかの表記にしておいて欲しいです。

さてさて。

前置きが長くなりましたが、こんな物入手しました。



イオン株主様ご優待カード！

別にステマじゃないですが、購入金額の3%のキャッシュバックが受けられる、とても素敵なカードです。

それからこのカードがあると、イオンラウンジに入れます。

というわけで。

ラウンジを使ってみたくて、いそいそとイオンモールへ。



こちらは鶴見のイオンモールですが、いざ行ったら、ラウンジすっごい並んでました。

仕方ない！

それなら大日のイオンモールへ行こう！

そんなわけで、わざわざ地下鉄に乗って、イオンモールをハシゴすることに。

ちなみにイオンのラウンジは、大きい店舗には大抵あります。

[【一覧表はコチラ】](#)

結局は大日も混んでましたが、飲物やお菓子が無料ですし、行ってみてよかったです。

株という言葉に抵抗を感じる方もいるようですが、持ち方によっては色々と優待が受けられたりするので、うまく使いこなせるようになると便利ですよ。

自分もまだまだ初心者なので、無理のない範囲で、これから勉強していきたいです。

こんにちは、らくだです。

KADOKAWA の準備会ブログが更新されたので、前回同様、判明しているQ & Aをまとめておきます。

【文字数の上限は？】

⇒今のところ特に設けない予定だが、コンテストは書籍化が前提となるので、あまりにもそぐわない分量は厳しい

(つまり長すぎは好ましくない？)

【コンテスト外の投稿はできる？】

⇒もちろん投稿していいし、編集者の目にとまれば、書籍化のチャンスもあり

【コンテスト外のジャンルについて】

⇒今後そのジャンルが盛り上がったら、コンテストを開催するかもしれない

今回は以上です。

より詳しい情報については、公式サイトをご覧ください。

【準備会ブログ】

<http://kadokawa-toko.hatenablog.com/>

個人的には、ジャンル分けにエッセイが入るかもしれない（不確定ですが）ってところが、期待大です。

自分エッセイ書くの大好きなんよ……。

むしろ小説家よりエッセイストになりたいわ……。

(↑そんな心構えだから小説が落選する)

というわけで、今後どんな情報が出てくるのか、引き続き更新を追っていきたいです。

こんにちは、らくだです。

そろそろ本格的に寒くなってきたので、ニトリで買った着る毛布を導入しました。  
コタツに入ってしまうと眠くなるので、これで寒さを乗り越えようと思います。

さて、今回も発表関連の話題を。

今月頭に最終発表があったビーンズですが、受賞者さんのコメントと、最終選考作品の講評が公開されました。

というわけで、リンクをペタリ。  
受賞作品が刊行されるのが今から楽しみです。

【公式サイト】

<http://www.kadokawa.co.jp/beans/awards/>

受賞作のジャンルは2本とも洋風ファンタジーみたいですね。

原稿募集のイメージイラストは現代ですが、少女小説において、やはりファンタジーは強いのでしょうか。

そういえば、自分は少女向けで2回だけ通過経験があるけど、片方は中華ファンタジーでもう片方は南国ファンタジーだったという……。

まあ面白ければ現代物でもいいんですけど。  
今話題のオレンジ文庫とかは、むしろ現代物がメインですし。

あとタイトルが気になっていたコンビニ新撰組は、講評からはどういう内容だったのかわかりませんが、何らかの形で刊行されたらいいなあーと思います。

今年も参加します - 2015.10.31 Sat

---

こんにちは、らくだです。

今日は10月末日ということで、HJの締切りがありました。  
TL上でもチラホラ見かけましたが、投稿された皆様はお疲れ様でした。

さてさて。

去年のこの時期もしつこく宣伝しましたが、今年もアルファポリスが開催する、エッセイ・ブログ大賞の季節がやってきます。

【公式サイト】

<http://www.alphapolis.co.jp/contPrize/boshuu/>

らくだ図書館もエントリーするよ！  
投票期間が始まったら、みんな応援よろしくね！

すでにご存知の方も多いかと思いますが、このコンテストは閲覧ポイントと投票ポイントで評価されるので、皆様の応援がものすごく大事なわけです。

まあ現実的な話をすると、この経路で書籍化を目指すのは、かなり難しそうなんですけどね……（汗）

いいんです。  
参加中の祭りのような雰囲気が好きなので。

ちなみに投票期間は12月なので、始まったらまた改めて宣伝します。

去年は166作品中7位と大健闘したので、一年たって閲覧数が伸びた今年は、さらに上の順位を目指したいと思います！